

第50回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会

第19回国際無菌生物学シンポジウム

第39回国際医学微生物生態学会

合同会議開催ご案内

総会開催にあたって

第50回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会

会長 神谷 茂

(杏林大学医学部感染症学講座)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

「高等動物には腸内細菌が不可欠ではないか」というパスツールの言葉に端を発した無菌動物を創る研究が、第2次大戦後にアメリカ・スウェーデン・日本の3国においてそれぞれ独立に成功し、無菌生物学・ノートバイオロジーが独立した科学として成立しました。

1967年にノートバイオロジーに関する国際シンポジウムが世界で初めてわが国で開催され、その翌年1968年に日本無菌生物ノートバイオロジー学会が発足しました。以来医歯薬学、動植物学、農学、獣医学、工学などさまざまな分野の研究者が一堂に会するユニークな学会として発展してきましたが、明年2017年には本学会創立50周年となります。この記念すべき第50回総会を第19回国際無菌生物学シンポジウムならびに第39回国際医学微生物生態学会との合同会議として開催することといたしました。

この合同会議のうち、日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会の一般演題にあたるものにつきましては以下のように例年どうりとすることにいたしました。すなわち、合同会議のRegistrationとAbstractの申し込み・提出に添えて、次ページに示しましたように例年の日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会の一般演題と同じ形式の申し込みをしていただきます。これにより抄録集を作製し、合同会議のJAGGセッションにおきましては口演していただき、佐々木正五賞をこの一般演題より選考いたします。学会誌「無菌生物」Vol.47には提出された原稿を掲載いたします。

会員の皆様には奮ってご参加いただき、多くのご発表とご議論をいただけますようお願い申し上げます。学会会場はJR御茶ノ水駅近くの「東京ガーデンパレス」とし利便性を図りました。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

会 期 2017年（平成29年）6月7日（水）～6月10日（土）

会 場 東京ガーデンパレス

〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5

TEL 03-3813-6211 FAX 03-3818-6060

参 加 費 20,000円（early on-line登録） 学生 10,000円（同）

懇親会費 10,000円（学生会員も同一）

日程につきましては本誌5ページの合同会議のプログラムをご参照ください。

一般演題申し込み

- a. 対象 本学会会員
 一般演題の演者と共同発表者は本学会会員であることを要します。未入会の方は日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所へ入会の手続きをしてください。
 無菌生物学・ノートバイオロジーに関する新しい知見を有する研究で未発表のものに限ります。
- b. 締め切り日 2017年(平成29年)3月31日(金)
- c. 申し込み方法 テキスト形式で演題申込書を作成の上、E-mailに添付して、学会事務所 gnotobiolosaki@ks.kyorin-u.ac.jp にお送りください。
- d. 演題申し込み書 ①演題, ②発表者(演者の前に○をつけてください), ③所属, ④抄録, ⑤英文演題, ⑥英文発表者, ⑦英文所属, ⑧英文抄録, ⑨演者 連絡先, 氏名, 生年月日, ⑩ TEL, ⑪ FAX, ⑫ E-mail を明記してください。
 ①~⑧を「抄録集」B5版見ひらき2頁(和文と英文)に印刷します。

例)

第50回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会一般演題申し込み書		(2017年3月3日)
①演題	<i>Helicobacter pylori</i> の自由生活性アメーバ共培養系における生存性の向上	
②発表者	○北条 史*, 大崎 敬子**, 米澤 英雄**, 花輪 智子**, 蔵田 訓**, 山口 博之***, 神谷 茂*,**	
③所属	(*杏林大学大学院医学研究科共同研究施設部門実験動物施設部門, **杏林大学医学部感染症学講座, ***北海道大学保健科学研究院病態解析学講座)	
④抄録	(1200字以内) 略語 (abbreviation) は初出のところに「略さない形」(full term) をお示しください。 I. 目的 (はじめに, 背景等) <i>Helicobacter pylori</i> は胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍の起因菌であり…… II. 材料 (対象) と方法 <i>A. castellanii</i> Neff 株は6-well マイクロプレートに…… III. 結果, 考察, 結論 共培養系をインキュベーターに静置して……	
⑤英文演題	Survival of <i>Helicobacter pylori</i> in co-culture with <i>Acanthamoeba castellanii</i> and their expressions of bacterial genes	
⑥英文発表者	○FUHITO HOJO*, TAKAKO OSAKI**, HIDEO YONEZAWA**, TOMOKO HANAWA***, SATOSHI KURATA**, HIROYUKI YAMAGUCHI*** and SHIGERU KAMIYA*,**	
⑦英文所属	* <i>Institute of Laboratory Animals, Graduate School of Medicine, Kyorin University, Mitaka</i> ** <i>Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine, Mitaka</i> *** <i>Department of Medical Laboratory Science, Faculty of Health Science, Hokkaido University, Sapporo</i>	
⑧英文抄録	(250 words 以内) <i>Helicobacter pylori</i> is a causative agent for gastritis, gastric ulcers, and duodenal ulcers. Almost 50% of the world's population harbor this gram-negative microaerophilic bacteria……	
⑨演者 連絡先, 氏名, 生年月日	〒181-8611 東京都三鷹市…… 杏林大学…… 北条 史 (19 年 月 日生)	
⑩ TEL	0422-47-…… 内線……	
⑪ FAX	0422-44-……	
⑫ E-mail	……@ks.kyorin-u.ac.jp	

演題の採否はご一任くださいますようお願い申し上げます。演題が採択されましたら、機関誌「無菌生物」に掲載する原稿をご提出いただきます。詳しくはお申し込み後にご案内いたします。
 連絡先

日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所
 〒181-8611 三鷹市新川6-20-2
 杏林大学医学部感染症学講座 大崎敬子
 TEL 0422-47-5511 内線 3464 FAX 0422-44-7325
 E-mail gnotobiolosaki@ks.kyorin-u.ac.jp